令和３年度
近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）
令和３年度大阪府社会教育研究会議
開催要項

１　趣　　旨　　近畿各府県の社会教育委員をはじめ、社会教育関係者・社会教育に関心のある方が一堂に会し、各地域における社会教育活動の実践や研究の成果について交流を深め、今後の社会教育活動の一層の振興を図るとともに、時代の変化と社会のニーズに応じたこれからの社会教育のあり方について研究協議を行う。

２　研究主題　　『新時代の多様な人づくり・つながりづくり・地域づくり』
～持続可能な地域共生社会をつくる社会教育のあり方～

３　開 催 日　　令和３年 11 月 22 日（月）～ 11 月 28 日（日）

４　主　　催　　一般社団法人全国社会教育委員連合　近畿地区社会教育委員連絡協議会
大阪府社会教育委員連絡協議会　大　阪　府　教　育　委　員　会

５　後　　援　　滋賀県教育委員会　京都府教育委員会　兵庫県教育委員会
奈良県教育委員会　和歌山県教育委員会

６　開催方法　　オンデマンド配信

７　参加対象　　近畿各府県市町村の社会教育委員・社会教育関係者等

８　大会日程

11 月 22 日（月）≪ 10:00 ～ 20:00 限定 ≫

記念講演

◇演題　「いのち輝く未来社会のデザイン　1970 年大阪万博から 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けて」

◇講師　橋爪　紳也 氏（大阪府立大学研究推進機構特別教授・大阪府特別顧問）

11 月 22 日（月）～ 28 日（日）

分科会（９ 参照）

＊ 配信している動画の録画、録音、スクリーンショット、転載等は固くお断りします。また、二次利用を禁止します。

９　分科会

第１分科会	社会教育委員の役割 （奈良県）	テーマ	いま改めて、社会教育委員会議・社会教育委員の役割を考える
		報告の要旨	奈良県や県内各市町村の社会教育委員会議の取組を報告するとともに、多様に展開されている社会教育委員の地域に根差した実績を報告する。併せて、社会教育委員連絡協議会の役割と可能性についても展望する。
		討議のポイント	・社会教育委員会議・社会教育委員の役割とは。 ・多様に展開されている現在の実践のなかで、共通している価値とは。 ・大きく変動している社会のなかで、これから期待される役割とは。
第２分科会	青少年教育 （滋賀県）	テーマ	子どもたちに自発的な表現活動の場（機会）を提供する ～演劇教育をとおした子どもたちの自己肯定感の育成～
		報告の要旨	子どもたち自身の行動への迷いや受け身的な体質に対して、演劇による自己表現の教育を通して、青少年の自己肯定感の育成や、主体的な表現、他者への想像力を養うことなどに取り組む活動について報告する。
		討議のポイント	・青少年の自己肯定感を育成する社会教育活動の在り方について。 ・青少年の健全育成につながる社会教育委員の役割とは。
第３分科会	学校・家庭・地域の協働 （京都府）	テーマ	中学校の再生と地域づくり ～城北中学校区地域支援協議会の取組を通して～
		報告の要旨	負のスパイラルからの脱却を目指した地域住民の取組が生んだ、多世代交流による地域住民のつながりと、次代を担う子どもたちの成長から学ぶ地域と学校の協働実践報告。
		討議のポイント	・地域と学校が協働することの意義とその効果について。 ・地域と学校の協働が、持続可能なものにするための工夫やしくみづくり。
第４分科会	地域づくり （和歌山県）	テーマ	地域の未来を読み解き、次代を担う人材の発掘と育成をめざして
		報告の要旨	和歌山県田辺市社会教育委員が企画・立案・実施を手掛けている人材育成事業「まちづくり市民カレッジ＋（プラス）」についての実践報告。
		討議のポイント	・地域づくりの担い手となる人材をどのように育てていくか。 ・社会教育委員として地域の活性化に向けてどのように取り組むか。
第５分科会	人権教育 （兵庫県）	テーマ	全ての人にとって生きやすい社会をめざして ～支援者の育成と社会教育のあり方～
		報告の要旨	子ども、女性、障がい者、高齢者などが抱える人権課題の解決に向け、孤立化を防ぐための居場所づくり事業や、住民どうしのつながりの中で、自ら学び、考え、選択する学習機会などを提供してきた尼崎市の取組を紹介する。
		討議のポイント	・家庭・地域における身近な人権課題の解決に向けた取組をいかに進めるか。 ・人権教育を推進するうえで、地域や社会教育委員の果たす役割とはどのようなものか。